

環境サービスへの報酬は、森林破壊にわずかな影響しか与えない



このレビューの目的は何か？

このキャンベル系統的レビューでは、森林伐採と貧困に対する環境サービスへの報酬(PES)プログラムの影響、および環境と貧困削減の目標が互いに矛盾しているかどうかを調べる。このレビューは、4か国の6つのPESプログラムを対象とする11の研究からのエビデンスをまとめたものである。

環境サービス(PES)プログラムへの報酬は、森林破壊に対してわずかな影響しか与えず、費用対効果が高くない。PESプログラムは、より裕福な農家の関心を集める可能性が高く、貧しい地域ではあまり効果的ではない。

このレビューは何を調査したのか？

森林は炭素を蓄える。これは炭素排出の影響を緩和するのに役立つ。しかし、森林面積は年間700万ヘクタール以上の割合で減少している。

環境サービスに対する報酬は、報酬と引き換えに環境サービスを提供する自主的な契約である。このレビューでは、支払われるサービスは天然林の維持または修復である。

このレビューでは、PESプログラムが森林破壊にどのように影響するのか、プログラムの有効性に影響する要因、およびPESが貧困削減を目指すべきかどうかを検討する。

何の調査が含まれていたのか？

このレビューには、「非PES」比較グループの結果と比較した森林破壊と貧困の結果を報告するPESプログラムの評価が含まれている。コスタリカ、中国、メキシコ、モザンビークの4か国の6つのプログラムを対象とした11の研究が含まれている。9つの研究が環境への影響に関するエビデンスを提供し、2つの研究が貧困への影響についてのエビデンスを提供している。貧困と環境の両方の結果を報告している研究はなかった。

すべての研究には方法論的な欠点がある。ランダム割り当てを使用するものがない。したがって、森林破壊に対するPESの影響は、次の理由で過大に評価される可能性がある。(1)PESプログラムは、土地所有者が森林破壊を意図していない地域に適用される場合がある。(2)土地所有者は、PESプログラムに含まれていない土地の樹木を伐採することにより「補償」することができる。

